



愛知陸協広報

第50号

令和2年3月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15 日重ビル2F

電話 (052) 684-7498 ファックス (052) 684-7499

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

令和元年度を振り返って

専務理事 稲垣 裕

昨年度は、全国都道府県対抗女子駅伝の優勝で大いに盛り上がりを見せた愛知陸協。今年度は男女とも最後まで諦めずに健闘を見せましたが、男子12位、女子20位の結果となりました。選手、コーチの皆さんの労をねぎらうとともに、来年の飛躍を期待したいと思います。

令和元年度は新たな歴史を刻む年となりました。昨年6月にカタールのドーハで行なわれた世界選手権大会で、男子20km競歩において山西利和選手(愛知製鋼)が圧巻のレース展開で、日本史上6人目の金メダルを獲得し世界の頂点に輝きました。併せてオリンピック出場内定となりました。酷暑のためナイトセッションとなったレースは、山西選手の計算されたペースで独歩状態になり、国民の多くに感動を与え、圧倒的な強さでの優勝となりました。オリンピックの金メダルに一番近い選手として、国民の期待が益々高まります。昨年9月のオリンピック出場選考レースとなったMGCでは、男子で服部勇馬選手(トヨタ自動車)、女子では鈴木亜由子選手(日本郵政グループ:豊橋市出身)の二人が2位に入りオリンピック代表に内定いたしました。なお、トラック&フィールドは6月の日本選手権大会(大阪)の結果で決定されます。愛知ゆかりの選手が大勢出場します。当地区より一人でも多くの選手がオリンピック出場を果たし活躍することを願っています。

今年度の国内主要大会で優勝した選手(チーム)を挙げて見ました。

茨城国体では、成年男子400mHで小田将矢選手(名古屋大M2)、岐阜のインターカレッジでは、男子ハンマー投げで古旗崇裕選手(中京大M1)、女子10000m競歩で矢来舞香選手(中京大)、沖縄インターハイでは、男子4×100mRで中京大中京高、女子三段跳で小寺波音選手(安城学園高)、女子円盤投で近藤未空選手(安城学園高)、女子7種競技で田中友梨選手(至学館高)、U20日本選手権の男子400mで富田大智選手(中京大中京高)、U18日本選手権では高橋遼将選手(中京大中京高)が男子110mJHと300mHの2種目を制覇。全国小学生大会では、男女混合4×100mRで安城JACが優勝。また、全日本大学女子駅伝では、名城大学が3連覇の偉業を達成。全国中学駅伝大会女子の部で岡崎市立六ツ美北中学が初出場で優勝し、愛知県勢として初の快挙となりました。若い選手の活躍が目立った年となりました。来年度への期待が大きく膨らみます。

最後に、令和元年度の後半は新型コロナウイルスの影響で愛知陸協の一部行事が中止に追い込まれたことは、残念でありました。

全員でつかんだ日本一

六ツ美北中学校 全国中学校駅伝女子初優勝

4位でタスキを受けた3区の鈴木愛菜選手(2年)が3人を抜いてトップに立ち、4区・5区の3年生が後続を振り切って初の全国優勝を遂げました。男女を合わせて県勢初の優勝です。3年生の入学の年に赴任した太田周作監督は、3年後の優勝を目標に掲げ、選手たちに自己管理を求めてきました。その目標が達成され、選手たちと喜びを分かち合っていました。

なお、男子の豊橋羽田中も大健闘の9位でした。



太田監督とメンバー (写真提供: 中日新聞社)

専門委員会報告

総務委員会

愛知陸協事務所移転のお知らせ

愛知陸協HPでもお知らせしてありますように、ビル改築に伴い日重ビルに移転していましたが、新装なった千代田ビルに2020年4月22日(水)に、再度移転します。新住所は下記のとおりです。

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号
ハレラニ千代田ビル3F

電話 052-249-4363 fax 052-249-4366

URL <http://www.aichi-rk.jp>

2020年の登録が3月3日から始まりました。公認の陸上競技大会等に審判員・競技者として参加するためには、愛知陸協に登録し、日本陸上競技連盟の登録会員にならなければなりません。手続きをお願いします。

変更点も有りますので、「登録要項」または、愛知陸協ホームページを参照のうえ、行なってください。不明な点は、事務局(電話052-684-7498)までご連絡ください。尚、4月22日(水)からは、上記のようになりますので、ご注意ください。

その年度の登録申請期間は、3月3日～11月30日(高校生は10月23日)までです。今年度の登録担当者・申請先を掲載します(転勤等で、担当者の所属先が変わる場合があります)。

一般団体・個人

名古屋	赤司 学	名古屋市千種区自由ヶ丘2-16-1 シティコーポ自由が丘303
尾張	門脇 良佑	尾北高等学校
西三河	山村 晃泰	安城東高等学校
東三河	山本 誠司	豊丘高等学校

大学生

全 県	愛知陸協事務局	052-249-4363
-----	---------	--------------

高校生

名古屋北	小林 諭	山田高等学校
名古屋南	小田垣充雅	名古屋女子大学高等学校
尾張	浜田 倫昌	津島北高等学校
知 多	成田 稔	武豊高等学校
西三河	小野田 基	三好高等学校
東三河	中村 昭広	豊橋工業高等学校

中学生(学校・クラブ・個人)

名古屋	三浦 雅史	吉根中学校
愛日・知多	釜下 隼亮	日進西中学校
尾張	酒井 達哉	宮田中学校
西三河	細井 太郎	奥殿小学校
東三河	岡田 淳史	豊橋青陵中学校

小学生友の会

名古屋	一力 俊雄	名古屋市緑区大将ヶ根2-434 TSメゾンN102
-----	-------	------------------------------

尾 張	八代香津子	愛西市勝幡町字後田397-2
西三河	小林 良博	岡崎市真伝吉祥1-21-7
東三河	手嶋 修次	蒲郡市緑町16-19

(水野 隆夫)

競技委員会

多くの競技役員の方々に協力いただき、無事終わることができました。ありがとうございました。

2019年度シーズンも穂の国豊橋ハーフマラソンを最後に幕を閉じる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で読売・犬山ハーフマラソン、名古屋ウィメンズマラソン2020の一般の部、穂の国豊橋ハーフマラソンの中止により、最後の最後で大きく揺れ動きました。多くの審判の方々にご心配とご迷惑をおかけしました。また、快く協力を頂きありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

2020年度はパロマ瑞穂スタジアム改築に向けて、競技会や競技内容等を検討した競技会開催を考えていかなければなりません。例年の競技会も多くあり、各地区の競技会を合わせると過密ダイヤの日程で1年が始まろうとしています。2026年のアジア大会に向けて、若い審判の方々に力を付けていただきたいと思います。ベテランの方のご指導の下、愛知陸協一丸となって行きたいと思っています。是非ご協力宜しくお願いします。

各競技会に関して要覧に出っていますが、変更があるときもあります。申し込み等は、陸協ホームページで大会要項や競技注意事項をよく確認して間違いのないようにしてください。

愛知陸上競技協会では、協会主催の大会において、新ルールの適用を原則としています。しかし一部の大会では、特別なルールを適用する事もあるので、大会要項や競技注意事項で確認をしてください。

一年を通して、愛知では国際的な大会や東海大会から小学生の競技会まで幅広く競技が行なわれています。多くの競技者が出場しそれを支える競技役員、補助員によって競技会が運営されています。それぞれが協力し合って、競技者がよい環境で競技できるようにご協力をお願いします。

(榊原 茂)

施設・用器具委員会

1. 検定関係の報告

(1) 犬山ハーフマラソンコース継続検定(12月21・22日)を実施しました。今回は、5年ごとの全コース測定でした。自転車計測員：桑原(B級)平川(C級)松田(C級岐阜)、検定員：青木、尾張陸協：小島・杉山・松井・青山・大西・高木・藤田・小椋、市役所事務局：小澤、小島、他1名、読売新聞社：諸角、児玉のメンバーで、カリブレーションコース作成風景



クラブ紹介④ 東郷 AC

東郷 AC は、東郷町の小中学校には陸上部がないため、陸上競技を普及させる事を目的として、2011年に創部しました。子供たちも気軽に入会できる環境が提供できたこともあり、ピーク時は70名を超える会員となりました。現在の会員は30名余りですが、小学生から大人まで陸上競技を楽しむ活動ができています。

練習は火曜日・木曜日の週2回/19:00～みよしグラウンドや刈谷陸上競技場で活動しています。小学生については、基本的な動きづくりを意識した練習、中学生は高校に進学後に活躍できる土台づくりを目標として指導しています。

2019年度は東郷 AC に「陸上の神様がご褒美をくれたのでは？」と思わずにはいられない程、記憶に残る1年になりました。

小学生男子コンバインド B の安藤楓真選手がクラブ初の小学生全国大会出場。中学生は2人が全国大会に出場し、全中の男子100mで香山勇輝選手が3位に入賞！ジュニアオリンピックの女子ジャベリックスローでは、堤陽菜選手が大会新記録で準優勝！また、全国定時制通信制大会のマイルリレー愛知県代表のアンカーを務めた原田登生選手が優勝のゴールテープを切りました。さらにクラブ出

身の高校生も活躍してくれました。沖縄インターハイに2名が出場、極めつけは日本代表として出場したアジアユースの2000mSCで豊明高校の村上弓月選手が優勝し、アジアチャンピオンに！愛知駅伝でもミラクルが起きました。東郷 AC のメンバーが主体の東郷町チームは、初めて町村の部の頂点に立つ事ができました。

選手が陸上を楽しみながら強い選手になっていくのを見届けることが、クラブ関係者の原動力となっています。これからも、陸上競技の普及活動に携わり、愛知の陸上競技強化に貢献できればと考えています。 (八木 伸一)



全中100m 香山勇輝選手 愛知駅伝 町村の部初優勝の東郷町チーム

早朝、日の出前から約3時間10分で事故無く無事に終わりました。その結果、次のように距離調整をしました。

ハーフ：全体は+0.87mでしたが許容範囲なので現状のまま。20km地点は+1.70mゴール方向へ移動。

10km：全体は-9.32mなので折り返しで4.66m延長しました。折り返し直後の5km地点は-2.01mなのでスタート方向に2.01m移動しました。

(2) 名古屋ウィメンズマラソンコース一部変更検定(1月4・5日)を実施しました。名城公園北交差点北の12年続いた雨水対策工事が終了して道路が復元され、関係する部分の25km～30km区間を早朝から自転車計測をしました。道路コース計測員：福島(陸連本部A級) 桑原(B級) 平川(C級)、愛知陸協：青木検定員・南技術役員・砂子間委員・吉越委員のメンバー。

5km地点交差点中央をスタートして、1時間半ほどで無事終わりました。その結果2.82m短い分を第2折り返し(康生通2)で調整しました。



35 k 地点での県警の協力

2. 元旦競歩大会を瑞穂コースから知多新コースへ変更

愛知で初めての「直線で、1kmの周回コース」を作成しました。知多警察署から道路使用許可書を貰うために、数多くの課題をクリアし、「生みの苦しみ」を経験しました。

前日の準備時はコーンが飛ぶほどの強風でしたが、当日は無風で天気恵まれグッドコンディションでした。強化委員会競歩部の委員さんからは、運営や選手の歩きやすさ

等で周回コースは好評でした。今後に向けて、参加者の増加には、記録が出やすいコースとのアピールとさらに、コースの改善の工夫が求められ、課題をクリアすることになります。



周回コース第2折り返し

3. 施設器具委員会に関する2020年度のルール変更(4月より適用)

(1) 第4種の扱い

小中学生の普及啓発(育成)を進め、健康増進を図るウェルネス陸上実現のため、地域の特性に応じた競技会を行ない、陸上を楽しめる場を確保する目的で、4種L(ライト) - 4種の1ランク下の施設 - を新設する。

(2) 100m逆走の承認

メイン側も認めるが細則第8条に規定されている舗装厚を確保すること等の条件があり、検定を要する。

* 詳しくは2020年4月に発行されるルールブックで確認をしてください。

4. アジア大会に向けての瑞穂公園陸上競技場改築

瑞穂公園整備担当者が2020.1.1に2名変更になりました

た。今まで話し合いで積み上げてきたものを再確認して進めるため、打合せ会議を愛知陸協が主導で2月25日に行ないました。

(1) 本陸改築関係

- ①名古屋市の改築スケジュール案では、「アジア大会開催まで6ヶ月も無い2026年3月完成」でした。愛知陸協としては2年前から、年間競技スケジュールに加えて、アジア大会の準備・研修会・リハーサル大会もできないことを市長あて文書で申し上げているが、進展が無い現状です。
- ②アジア大会時の練習会場「投てき練習場とウォームアップ場等」の整備も同様に市長あて文書で申し上げているが、これも進展が無い現状です。

(2) 北陸改修関係

名古屋市の北陸配線工事スケジュール案(2020年11月1日～2021年3月31日)の工事期間を、北陸への本陸器具備品移動(2021年3月1日～31日)に間に合うように要望しています。担当者に、3月下旬に北陸の器具点検研修会を設定しないと、4月からの競技会開催ができないことを理解していただくことが大切です。

(青木 実)

審判委員会

2019年度の愛知陸上競技協会の行事も、各地区の審判伝達講習会を最後に新型コロナウイルスの影響によって中止となった競技会を除き、ここまでの行事を予定どおり行なうことができました。競技役員としてご協力くださいました皆様のおかげであると感謝申し上げます。

今年度のトラック&フィールドの大会におきましては、予定していた審判員数を大きく上回る審判員の皆様から、ご協力のご回答をいただきました。大会規模や予算面から、お断りする大会も複数ありました。せっかくのご厚意を無にし、申し訳ありませんでした。ご都合をつけていただいたにもかかわらず、お断りしましたことを深くお詫び申し上げます。一方で、長距離競技会や投てき競技会のように実施種目数の少ない大会や冬季の大会において、審判員が不足する事態が今年度も生じてしまいました。大会運営等の工夫を、他の委員会と協議してまいりたいと思います。

B級公認審判資格取得講習会は今年度も多くの方々を受講されました。合格された、前期28名、後期47名、合計75名の方が、2020年度より審判員として活動されます。新審判員の皆様が達成感や充実感が得られるように、先輩審判員のご指導のもと今後の大会運営を進めてまいります。ご活躍を祈念申し上げます。

S級審判資格昇級年齢が、今年度より55歳以上となりました。5年早まったことにより、例年になく多くの方が昇級されました。S級・A級審判員に昇級されました方は、下記のとおりです。おめでとうございます。上級審判員として、さらなるご活躍を期待いたしております。

S級	青山充資様	石野浩幸様	市川陽明様	伊藤明久様
	太田一弘様	大西敏功様	木村元彦様	小林弘幸様
	小林良博様	松井 健様	森浦 朗様	脇田千鶴様
A級	上田裕貴様	大崎好恵様	川辺美和子様	児玉征久様
	柴田達也様	鈴木弘充様	鳥本靖之様	中村昭広様
	野口力矢様	宮本 智様	村本隆之様	

今年度の、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、エリート部とホイルチェアマラソンの部のみを実施しました。東京オリンピックの最終選考レースでありましたが、感染拡大を予防するため、沿道での応援自粛の呼びかけを行ない、ナゴヤドーム内の催しも中止するなど、対策を講じての実施となりました。急な大会運営方法の変更やボランティアの大幅な削減、さらには降雨の中の大会といった悪条件にも関わらず、通常どおりの活動をしていただき、感謝いたします。おかげをもちまして、一山選手が女子単独レースにおける日本記録を樹立し、東京オリンピック代表に内定しました。この記録は日本記録と合わせて、アジア記録でもあります。来年度も大会運営へのご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、愛知陸協広報第50号発行の節目にあたり、年誌資料・広報委員会の皆様のご尽力に感謝いたします。また、審判員の皆様におかれましては、2020年度もより多くのお力添えをお願いいたします。本年度は有難うございました。(櫻井 一美)

選手強化委員会

皇后盃第38回女子・天皇盃第25回男子
都道府県対抗駅伝大会報告

年末年始の代表者合宿を経て、令和2年1月12日(日)女子駅伝が京都で、翌週19日(日)男子駅伝が広島で行なわれました。絶対的なエースのいない今年のチームは、チームワークを試される大会となりました。昨年女子は10年連続の入賞を、優勝という最高の形で果たしたチーム愛知。多くの関係者・県民のみなさんの期待は、11年連続入賞と連覇、そして4年前のアベック優勝の再現であったことでしょう。エントリー段階でのランキングは女子は入賞圏外、男子は1位という位置でした。女子チームについてはチームワークを発揮できず、悔しい結果となりました。1区で波に乗り切れずにスタートした全9区間は、1つの区間を除いて区間二桁の記録でした。その中において、4区を任された吉川侑美選手(ユニクロ)がキャプテンとして区間7位の、堂々とした意地の走りを見せられました。20位という結果は残念ではありますが、「脱 鈴木亜由子」を掲げスタートを切った初年度で、高校生は1・2年生のみの編成でした。一般も社会人1年目から3年目の若いチームで挑んだ結果で、第二期黄金時代に向けたスタートを切ったばかりです。来年以降強い愛知の復活に向け、選手・スタッフが流した悔し涙を無駄にしないよう一致団結して頑張ります。

翌週の男子はトラブルもほぼない状態で当日を迎えることができましたが、こちらも残念ながら12位という結果に終わってしまいました。エントリー時の各区間合計タイムではランキング1位ではありましたが、あくまでもそれは記録上のことと選手には伝え、一人ひとり力を出し切って「2時間18分50秒台で上位入賞」の目標を掲げて挑みました。1区鈴木竜太郎選手(豊川高)が年末の高校駅伝での失敗を取り返すような、トップと9秒差のタイムでしっかり流れを作ってくれました。ハイレベルの闘いの中、2区柴田 侑選手(南陽中)・3区山口浩勢選手(愛三工業)・4区小林亮太選手(豊川高)・5区谷口 賢選手(豊川高)・6区松井寛翔選手(逢妻中)と、チーム愛知歴代

1位から3位のタイムの走りを見せ、入賞圏内7位でアンカーにタスキを繋いでくれました。アンカーの東 瑞基選手(コモディイダ)は今季好調の選手でした。しかし代表チームでの経験の少なく、しかも各県のエースが集まる7区で代表選手の誇りを必死な走りで見せてくれましたが、6位までが大会新記録の中、入賞はなりません。1区の鈴木選手が県新記録、2区の柴田選手が県タイ記録、4区の小林選手・5区谷口選手がそれぞれ県2位の記録、6区松井選手が県3位の好記録でした。このことは、数年来の課題であった少年選手の育成という点では、1つの成果が出てきたのではないのでしょうか。今回の結果から、選手はもちろんスタッフも来年に向けての課題をしっかりと持ってゴールと同時に動き出しました。

女子第38回・男子第25回チーム愛知の選手および成績は次のとおりです。

女子チーム 第20位 2時間21分32秒

区間	氏名(所属)	記録	区間順位	通過順位
1区	荘司 麻衣(デンソー):F	20.08	28位	28位
2区	小笠原 安香音(豊田自動織機)	13.01	19位	29位
3区	田島 愛梨(横須賀中)	9.55	16位	25位
4区	吉川 侑美(ユニクロ):F	13.15	7位	21位
5区	磯部 早良(安城学園高)	13.37	15位	19位
6区	阪井 空(豊川高)	12.49	18位	18位
7区	坂牧 紗衣(光ヶ丘女子高)	13.25	24位	17位
8区	林 那優(豊川一宮中)	10.22	11位	17位
9区	川口 桃佳(豊田自動織機)	34.00	32位	20位

F:ふるさと選手



女子チームのメンバー

男子チーム 第12位 2時間18分35秒(愛知県新記録)
※1区県新記録・2区県タイ記録

区間	氏名(所属)	記録	区間順位	通過順位
1区	鈴木 竜太郎(豊川高)	19.55	13位	13位
2区	柴田 侑(南陽中)	8.31	3位	6位
3区	山口 浩勢(愛三工業)	24.26	22位	12位
4区	小林 亮太(豊川高)	14.18	5位	7位
5区	谷口 賢(豊川高)	24.43	15位	8位
6区	松井 寛翔(逢妻中)	8.50	12位	7位
7区	東 瑞基(コモディイダ):F	38.52	33位	12位

F:ふるさと選手



男子チームのメンバー

本年度も両大会において、愛知県人会の皆様から大会期間中たくさんの激励とご厚情を頂きました。愛知陸協からも沿道・スタンドから熱烈的な応援を頂き、選手・スタッフ共々感激いたしております。

大会関係各位、ご配慮頂いた所属チームの皆様方、愛知陸協応援団の皆様には、深く感謝するとともにこの場をお借りしてお礼申し上げます。来年度に向け、一層の結束と強化を推進して参ります。今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。
(明星 光信)

記録・情報処理委員会

2019年に樹立された県新記録等

2019年(平成31年1月1日~令和元年12月31日)は、愛知製鋼の丸尾知司選手が50km競歩で日本新記録(3.37.39)を樹立したのをはじめ、以下の数のように県・ジュニア・高校・中学で新記録が樹立されました。(小学生は最高)

愛知新記録(男子)	11種目	延べ	19
愛知新記録(女子)	2種目	延べ	3
愛知新記録(混合)	1種目		
愛知U20新記録(男子)	4種目	延べ	11
愛知U20新記録(女子)	2種目	延べ	4
愛知高校新記録(男子)	9種目	延べ	24
愛知高校新記録(女子)	7種目	延べ	10
愛知中学新記録(男子)	2種目		
愛知中学新記録(女子)	4種目	延べ	6
愛知小学生最高記録(男子)	6種目		
愛知小学生最高記録(女子)	5種目		
愛知小学生最高記録(混合)	1種目		

○2019年に更新された記録

(同じ選手、同じメンバーは最高記録のみ掲載)

これ以外は、2019年愛知陸協記録集をご覧ください。

一般男子

300m	33.22	富田 大智(中京大附中京高)	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 9.1]
600m	1.20.17	菅沼 玲央(豊橋東高)	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
	1.22.52	加藤 大樹(豊川高)	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
	1.22.65	稲川 慧亮(中京大附中京高)	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
	1.22.89	馬場勇一郎(中京大附中京高)	

学校訪問④⑩ 豊橋市立羽田中学校 全国中学校駅伝男子の部9位

今回は、昨年の県中学校駅伝競走大会の男子の部で優勝し、12月の全国大会でも9位と健闘した豊橋市立羽田中学校を2月に入ってから訪問しました。陸上部以外に全校から選手を募集し編成した駅伝チームは既に解散した後でしたので、母体となっている陸上部の練習を中心に報告をします。

最初の報告はまず、練習前の状況です。本練習は8時30分開始でしたが、部員たちのほとんどは8時には集まり、練習メニュー表の8時30分の前の項目の〔練習前〕・道具の準備→全員で協力して ・体の準備→少しでも動きやすい状態に ・心の準備→集中した状態にしておく ・グラウンドの準備 の4項目がじっくりと行なわれていました。中には7時台の前半に登校していた部員もいたと横内隆之先生はおっしゃっていました。これだけ準備がしっかり行なわれていれば、本練習で十分な成果をあげられるし、故障を引き起こすこともないかなと思われました。また、この項目の内容は指定されてはいないので、部員たちの中に主体性が養われているのだろうとも思われました。練習前の様子に対しては、一緒に訪問をした東三河陸協理事長の兵藤重二先生も大変感心しておられました。

本練習が始まると、他校の訪問では見られなかった形の一つがありました。それは音楽がずっと流されていたことです。競技会においては、パロマ瑞穂で競技会前に参加者の気分を高揚させるために音楽が流されることがあります。それが練習の中で行なわれていたのです。それは、練習の最後まで続けられていました。横内先生は、長距離のペース走では音楽のテンポが練習の効果を押し上げますよとおっしゃっていました。他のパートにおいても、気分的な面で練習を後押ししているかなと思われました。練習の成果を押し上げる一つの手法と言えましょうか。

練習はジョギングから始まりましたが、一般的なものとは少し違っていました。6分→2分→1分という形でペースが上がっていくもので、準備運動というのではなく本練習そのものかなという感じでした。本練習の30分以上前から状態を上げてきているのですから、こんな形も取れるのだなと思いました。



バンド 20m 往復

次に体操からサーキット的なトレーニングに入っていったのですが、このトレーニングは多種目に渡っておりました。メディシンボールを使うもの、ミニハードルを使うもの、鉄棒を使うものなど、メニュー表で数えてみると18種目ありました。中には、初めて見る器具を使う練習もありました。それらを紹介しましょう。一つ目は、〔バンド 20m 往復〕です。結束（足？）バンドと呼ばばいいのでしょうか。二本のベルトで両膝あたりと両足首あたりを固定し、横向きにお尻の筋肉（中臀筋）を使って進むものです。先生によれば、中臀筋を鍛えて接地した時に膝折れの形にならないようにしたいとのことでした。二つ目は、〔ウォーターバッグ 1分×両足〕です。これはサッカーの長友選手が体幹を鍛えるために用いて有名になった器具だとのことでした。ウォーターバッグの中の水は、バッグが少しでも傾いていけばその傾きに従って移動してしまいます。体幹がしっかりしていないと、体の軸を真っ直ぐに保つことができません。その場での脚上げばかりでなくバッグを肩に担いだままの20mほどの腿上げ歩行もありましたが、体幹の鍛えられていない部員は進むのに苦労していました。2年生と思われる体幹を鍛えてきた部員たちは滑らかに歩行していましたが、横内先生は70mぐらいいろ動ける選手もいますよとおっしゃっていました。繰り返しのトレーニングの成果といったところでしょうか。最後に、〔ケトルベル×10〕です。重りを持って台上ジャンプを繰り返すものですが、ジャンプの台は、横内先生の手作りだそうです。手作り器具は他にもビニールパイプをつないでミニハードル風に仕上げたものもあり、先生の情熱が伝わってくる思いがしました。これだけの種目をこなしていれば、筋力ばかりでなく、運動の神経回路も十分に発達させることができるのではないかとの思いもしました。



ウォーターバッグ
腿上げ歩行



ケトルベル×10



再生映像確認

私の目を引いた内容をもう二つ紹介しておきましょう。一つ目は、iPadを使用した撮影です。ミニハードル走の場面です。三脚に据えたiPadで動画撮影をするのですが、ここに工夫がありました。遅延再生という機能を利用するのです。最後のハードルを越えて戻ってくる時（10秒後）に、自分の姿が再生されている映像を自分の目で確認させるのです。部員たちは自分の姿を確認したうえで、二本目、三本目の動きに修正を加えていました。視覚による情報には大きな力があるもので、横内先生の指示も言葉だけの時とは違って、よりいっそう浸透していているように思われました。もう一つは、練習ノートです。これにはちょっと驚かされました。部員たちは練習の場にノートと筆記用具を用意してきているのです。何が驚きかと言いますと、それは練習の途中で書き込みをしていたことです。一例を紹介しましょう。ハードルの抜き脚練習していた女子部員です。爪先が下がってしまうところを横内先生に相談していたのですが、先生の指導で気づいたことがあったようです。「骨盤を意識し、膝が高くなるように引き上げる」「親指に意識を持ってくる」などと、気づいた時点ですかさずノートを取り出して書き込んでいました。先生は、指示したわけではなく、練習ノートに気づいた事を書き込むと練習の効果が二倍、三倍になると語っただけのことですよとおっしゃっていました。練習の最後の片付けの時に、もう一人の顧問の山本真矢先生の「何か自分ができることを探して」の言葉に間髪を入れずに動いていたことにも、この主体性は発揮されていました。



練習ノートへの書き込み

主体性を持った部員たちの伸びを想像しながら、私達はグラウンドを後にしました。（取材・文責・写真 大西敏功）

	[第8回中京大学競技会(愛知) 2.16]	(岸本 優花・倉橋 美穂・外園 愛梨・高須 鮎香)
1500m	3.39.98 田中 秀幸(トヨタ自動車)	[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7.24]
	[ホクレンディスタンスチャレンジ第2戦深川大会(北海道) 7.9]	七種競技 5346 田中 友梨(至学館高)
5000m	13.22.72 田中 秀幸(トヨタ自動車)	[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8.7]
	[KBC-Night of Athletics(BEL) 7.20]	5142 伊藤 桃子(中京大附中京高)
30km	1.29.33 藤本 拓(トヨタ自動車)	[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8.7]
	[第73回福岡国際マラソン選手権大会(福岡) 12.1]	高校男子
5kmW	19.18 山西 利和(愛知製鋼)	300m 33.22 富田 大智(中京大附中京)
	[第43回全日本競歩能美大会(石川) 3.17]	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 9.1]
10kmW	38.27 山西 利和(愛知製鋼)	400m 46.64 富田 大智(中京大附中京)
	[第43回全日本競歩能美大会(石川) 3.17]	[第35回U20日本陸上競技選手権(広島) 10.18]
20kmW	1.17.15 山西 利和(愛知製鋼)	600m 1.20.17 菅沼 玲央(豊橋東)
	[第44回全日本競歩能美大会(石川) 3.17]	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
30kmW	2.09.17 丸尾 知司(愛知製鋼)	1.22.52 加藤 大樹(豊川)
	[第58回全日本50km競歩高島大会(山形) 10.27]	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
50kmW	3.37.39 丸尾 知司(愛知製鋼)	1.22.65 稲川 慧亮(中京大附中京)
	[第58回全日本50km競歩高島大会(山形) 10.27]	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 8.31]
走幅跳	7.93 南 晋太郎(中京大クラブ)	1.22.89 馬場勇一郎(中京大附中京高)
	[第32回梅村学園競技会(愛知) 4.13]	[第8回中京大学競技会(愛知) 2.16]
一般女子		1000m 2.29.47 馬場勇一郎(中京大附中京)
5000mW	22.31.94 矢来 舞香(中京大)	[第8回中京大学競技会(愛知) 2.16]
	[第74回国民体育大会(茨城) 10.7]	1500m 3.46.23 柳本 匡哉(豊川)
10000mW	46.11.22 矢来 舞香(中京大)	[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8.5]
	[ひろしま県央競歩記録会(広島) 11.23]	110mH 14.13 高橋 遼将(中京大附中京)
4×100mR	45.40 中京大附中京高	[第47回名古屋地区選手権兼名古屋地区記録会(愛知) 10.6]
	(岸本 優花・倉橋 美穂・外園 愛梨・高須 鮎香)	110mJH 13.60 高橋 遼将(中京大附中京)
	[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7.24]	[第13回U18日本陸上競技選手権(広島) 10.18]
	45.41 愛知県	13.94 岩堀 剛己(名古屋)
	(大城 珠莉・倉橋 美穂・柴山 沙也香・井戸アビゲイル風果)	[第35回U20日本陸上競技選手権(広島) 10.18]
	[第74回国民体育大会(茨城) 10.8]	4×100mR 39.79 中京大附中京
男女混合		(竹内 大和・富田 大智・神谷 翔矢・河田 航典)
4×400mR	3.33.40 安城学園高	[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7.24]
	(井上 享吾・村木 未澗・浜山 瑞希・山並 星南)	40.06 中京大附中京
	[国民体育大会選手選考春季選抜競技会(愛知) 4.21]	(河田 航典・富田 大智・鈴木 大河・清水 章吾)
U20 男子		[第10回エコパトラックゲームズ(静岡) 11.4]
400m	46.64 富田 大智(中京大附中京高)	4×400mR 3.09.99 中京大附中京
	[第35回U20日本陸上競技選手権(広島) 10.18]	(清水 章吾・鈴木 大河・高橋 遼将・富田 大智)
1500m	3.46.23 柳本 匡哉(豊川高)	[第10回エコパトラックゲームズ(静岡) 11.4]
	[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8.5]	3.10.76 中京大附中京
4×100mR	39.79 中京大附中京高	(高橋 遼将・稲川 慧亮・鈴木 大河・富田 大智)
	(竹内 大和・富田 大智・神谷 翔矢・河田 航典)	[第62回東海選手権(三重) 8.25]
	[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7.24]	やり投 69.16 堤 洸太郎(瑞陵)
	40.06 中京大附中京高	[第66回東海高校総合体育大会(静岡) 6.23]
	(河田航典・富田大智・鈴木大河・清水章吾)	高校女子
	[第10回エコパトラックゲームズ(静岡) 11.4]	100m 11.73 井戸アビゲイル風果(至学館)
4×400mR	3.09.99 中京大附中京高	[第66回東海高校総合体育大会(静岡) 6.22]
	(清水 章吾・鈴木 大河・高橋 遼将・富田 大智)	100mYH 13.46 安藤 愛未(至学館)
	[第10回エコパトラックゲームズ(静岡) 11.4]	[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 9.1]
	3.10.76 中京大附中京高	300mH 43.00 神田 彩名(名城大附)
	(高橋遼将・稲川慧亮・鈴木大河・富田大智)	[第13回U18日本陸上競技選手権(広島) 10.20]
	[第62回東海選手権(三重) 8.25]	4×100mR 45.40 中京大附中京
U20 女子		(岸本 優花・倉橋 美穂・外園 愛梨・高須 鮎香)
4×100mR	45.40 中京大附中京高	[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7.24]
		三段跳 12.72 小寺 波音(安城学園)
		[第74回国民体育大会(茨城) 10.6]

七種競技 5346 田中 友梨 (至学館)
 [第72回全国高校総合体育大会 (沖縄) 8.7]
 5142 伊藤 桃子 (中京大附中京)
 [第72回全国高校総合体育大会 (沖縄) 8.7]

中学男子

300m 36.73 池田 駿大 (春日井中部)
 [名古屋地区プレシーズンゲーム (愛知) 3.21]
 4×100mR 42.29 愛知ジュニア選抜
 (猪上 詞穂・香山 勇輝・伊藤 大翔・中山 二千翔)
 [名古屋地区小・中学生秋季競技会 (愛知) 10.5]

中学女子

300m 41.64 青山 理奈 (名古屋御幸山)
 [名古屋地区プレシーズンゲーム (愛知) 3.21]
 円盤投 37.11 伊藤 圭菜 (TSM)
 [第47回名古屋地区選手権兼記録会 (愛知) 10.6]
 四種競技 2905 林 美希 (TSM)
 [第6回奈良市陸協記録会 (奈良) 11.3]
 2889 田島七里香 (尾張旭西)
 [第46回全日本中学校選手権 (大阪) 8.23]
 ジャベリックスロー
 56.43 堤 陽菜 (東郷 AC)
 [第50回ジュニアオリンピック (神奈川) 10.11]

小学男子

100m 12.01 中島 悠太 (TSM)
 [日清食品カップ第35回全国小学生交流大会(神奈川) 8.10]
 80mH 13.34 杉浦 崇義 (TSM)
 [岡崎第33回愛知県小学生選手権 (愛知) 11.4]
 5年コンバインド A
 1740 セントング大駕 (TSM)
 [第1回名古屋地区小学生記録会 (愛知) 5.12]
 6年コンバインド A
 2366 坂井 大一 (TSM)
 [日清食品カップ第35回全国小学生交流大会(神奈川) 8.10]
 5年コンバインド B
 1726 深津 輝滝 (JAC 武豊)
 [第1回名古屋地区小学生記録会 (愛知) 5.12]
 6年コンバインド B
 2111 安藤 楓真 (東郷 AC)
 [日清食品カップ第35回全国小学生交流大会(神奈川) 8.10]

小学女子

80mH 13.69 榊原 東子 (JAC 武豊)
 [第33回愛知県小学生選手権 (愛知) 11.4]
 5年コンバインド A
 1822 蛭川 真奈 (成岩 SC 陸上)
 [第5回東海小学生競技会 (三重) 8.24]
 6年コンバインド A
 2207 村田 愛奈 (TSM)
 [日清食品カップ第35回全国小学生交流大会(神奈川) 8.10]
 5年コンバインド B
 1501 山本 星姫 (TSM 岡崎)
 [第2回西三河小学生記録会 (愛知) 5.26]
 6年コンバインド B
 1993 伊藤 優亜 (愛知つばさ TCA)

[第65回全日本中学校通信陸上競技名古屋地区混成競技会(愛知) 5.18]

小学混合

4×100mR 50.15 安城ジュニア AC
 (神谷 朱里・岡村 マリアナミコ・小野 真大・山内 達平)
 [全三河小学生秋季合同記録会 (愛知) 9.29]
 (石鎚 一則)

年誌資料・広報委員会

愛知陸協広報は平成18年1月1日に創刊後、今回で15年目、節目の第50号の発行となります。陸協や各委員会の動き、尾張・名古屋・西三河・東三河の各地区(支部)の出来事や関係団体の動向などをまとめてきました。ホームページ・クラブ紹介・学校訪問等の特集したり、競技会報告として競技会の記録結果を掲載したり今後の参考としてきました。これからもご愛読よろしくお願いたします。

「愛知陸協広報」51～53号編集計画(案)

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協広報」51号	7/31	<ul style="list-style-type: none"> ・会長のことば ・専門委員会報告及び今年度の活動方針 ・4地区の活動状況及び今年度の活動方針 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(国体選考、国体春季選抜、東海学生、県マスタース、県高校総体、日本選手権、県高校定通、東海高校総体、県・東海混成、小学生リレー等) ・理事会等会議報告 ・慶弔報告(協会会長表彰他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ④ ・クラブ紹介④ ・学校訪問④ ・陸上競技場めぐり⑩
「愛知陸協広報」52号	11/30	<ul style="list-style-type: none"> ・専務理事のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(愛知選手権、県中学通信・県中総体、東海中総体、全日中、東海選手権、県ジュニア、県高校新人、U20・U18、国体、県小学生等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、国体他) ・慶弔報告(秩父宮章他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ④ ・クラブ紹介④ ・学校訪問④

「愛知陸協 広報」 53号	3/31	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況及び今年度の反省 ・関係団体の活動状況及び今年度の反省 ・競技会報告（県高校駅伝、県中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝、愛知陸協駅伝、全中駅伝、全国高校駅伝、元旦競歩、都道府県駅伝、読売犬山ハーフマラソン、マラソンフェスティバル等） ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記（都道府県駅伝等） ・慶弔報告（県体協他） ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん④ ・クラブ紹介④ ・学校訪問④ ・陸上競技場めぐり⑦
---------------------	------	--

(新見 精三)

り、さらなる競技力の向上に繋げていければと思います。



寺田明日香選手の指導場面

(可知 裕行)

尾張陸上競技協会

今年度の尾張陸上教室は12月15日(日)、1月11日(土)、2月1日(土)の3回、県営一宮総合運動場(いちい信金スポーツセンター)にて開催しました。昨年に続きハンマー投の墨 訓熙選手を始め、多くのトップアスリートがコーチとして参加してくれました。そのコーチの動きを見る中高生の真剣な眼差しが、とても印象的でした。昨年は、県営一宮総合運動場の改修工事に伴い、知多市運動公園陸上競技場を借用した1回のみで開催ただけに、今年度の成果は大いに期待できそうです。

今年度最後の競技会である第67回尾張駅伝競走大会は、1月19日(日)に県営一宮総合運動場および周辺コースで実施しました。今年度は天候に恵まれた中での大会でした。高校女子の部では、愛知黎明の13連覇を阻んだ一宮が13年ぶりの優勝でした。結果については下記のとおりです。

一般男子の部 (21km)

- 1 めまちゃんず A
- 2 尾張クラブ
- 3 めまちゃんず B

高校男子の部 (21km)

- 1 愛知黎明
- 2 津島東 A
- 3 津島

高校女子の部 (18.9km)

- 1 一宮
- 2 愛知黎明
- 3 一宮南

中学男子の部 (14.7km)

- 1 宮田 A
- 2 古知野 A
- 3 犬山南部 A

中学女子の部 (14.7km)

- 1 AC一宮 Junior
- 2 古知野 C
- 3 宮田 A

続いて今回も、尾張陸協の競技会運営上の工夫を紹介します。他の地区の陸協でも悩みの種となっているのではないかと思われる競歩審判員の確保の問題についてです。

競歩競技には、トラック内の歩型判定員5名に、主審1名、記録係1名と最低7名の審判員が必要です。しかし、この7名を試合ごとに確保することが難しい状況がずっと続いていました。総務員やフィールド審判員で競歩審判ができる人に、トラック内に立って兼務してもらっているような状況です。そこで尾張陸協では、昨年からの競歩審判の

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

<愛知駅伝>

市の部は、名古屋市が3回目の優勝を目指して臨みましたが、健闘むなしく4位に終わりました。東海市が1区田島愛梨選手(横須賀中)の活躍で6位入賞を果たしました。町村の部は、東郷が悲願の初優勝、2位 阿久比、4位 東浦、6位 武豊、7位 美浜が上位入賞を果たしました。

区間賞は、3区 近藤直樹選手(阿久比:愛知製鋼)、4区 澤田佳鈴選手(阿久比:南部小)、5区 加藤賢斗選手(東郷:東海中)、7区 森崎綾乃選手(東郷:関西外国語大)、8区 村上弓月選手(東郷:豊明高)、9区 植田陽平選手(武豊:麗澤大)が獲得しました。

<陸上競技教室>

瑞穂・半田・知多の3会場で、各会場3日間の日程で行なわれました。今年も多くの小・中・高校生が参加して、各ブロック別に基礎・基本を中心とした指導が熱心に行なわれ、盛り上がりのある教室となりました。学生の指導者が多く参加しており、将来の指導者育成にも大いに役立ったと思います。

また、1月13日(月・祝)には女子100mH日本記録保持者の寺田明日香選手、2月2日(日)には、円盤投日本記録保持者の湯上剛輝選手、ハンマー投日本選手権優勝の墨 訓熙選手を迎え、クリニックが行なわれました。トップアスリートの動きを間近で見て直接指導してもらうことは、選手やコーチにとって大変刺激的であると同時に、技量を高める大きな財産となりました。今までトップアスリートの招待は、短距離・投擲種目でしたが、長距離専門の参加者が大変多いため、長距離種目でも招待できればよいと思います。魅力ある陸上教室にすることで底辺が広が

育成を始めました。若手審判員で長距離競技の経験者を中心に声をかけ、審判員の横に立って研修を積んでもらっています。競歩の審判には、歩型に対する深い理解が必要ですので、1回や2回の研修ではすぐに一人立ちできるものではありませんが、試合ごとに根気よく続けていこうと考えております。



若手競歩審判員の育成

来年度は県営一宮総合運動場陸上競技場に万全の準備をしていただき、トラブルのない競技運営を目ざしたいと思っています。競技者、競技役員、スタッフの方々の協力、ご支援をよろしくお願いいたします。(青山 充資)

西三河陸上競技協会

新役員でスタートした2019年、多くの審判員の皆様のお力添えですべての競技会を無事終えることができました。まずはご協力に対しお礼申し上げます。

さて、本年度もトップニュースは、西三河地区登録の選手たちの活躍です。全国高校総体では、女子棒高跳の岡崎城西の渡邊南月さんが8位に入賞しました。そして、安城学園は小寺波音選手が女子三段跳で1位、近藤未空選手が女子円盤投で1位と、2種目の優勝者を輩出しました。さらに、二人の活躍により安城学園高校として、初の女子フィールドの部総合優勝に輝きました。高校総体に続く、全日本中学選手権では、岡崎東海の小島颯太選手が男子400mで8位に入賞、碧南新川の長谷川 豪選手が男子走高跳で7位に入賞しました。大学生では、9月に実施された全日本インカレでは愛知教育大学の松本扶弥選手が女子

400mで3位に入賞しました。国体においても、男子の走高跳で宇野琳太郎選手が6位、女子の三段跳で小寺波音選手が2位と、ここでも安城学園の選手が活躍しました。そして、12月の全国中学校駅伝、女子の部において、岡崎の六ツ美北中学が初出場初優勝という快挙を成し遂げました。男女を合わせ愛知県内初となる優勝でした。全国大会で入賞された皆さんに対しては、その栄誉を称え1月24日に安城陸上競技場において表彰式を実施しました。写真は表彰式に出席された皆さんです。



表彰を受けた選手達

来年度に向けては、今年度から参加資格が変更となった「愛知陸上競技選手権大会」や新設された「愛知県中学生新人陸上競技大会」への対応を第一と考えました。中学新人の参加資格は標準記録のみです。標準記録突破を意識した大会運営方法等を検討し、9月に県中新人出場を目ざした大会を新設しました。また、今年度まで小学生の大会は全て、中学生と同時開催をしていましたが、来年度からは一部の大会を除き単独実施とします。

建設が進む、「岡崎市龍北総合運動場」は、7月上旬の開場予定です。8月中旬には新競技場の使用研修会を実施します。電子音スタート発信装置等、今まで西三河では使用した事の無かった多くの機器が導入されています。審判員の技術向上に役立つ研修会になるよう計画します。ま

ホープさん ④

川島 実桜 選手 (豊橋南高)

本年度800mで全国高校総体第6位、国体第4位、U18日本選手権第4位という成績を残すことができました。二年生の段階で三つの全国大会で6位入賞を果たしたのは、本校では6年前に卒業したハードルの萩原加奈子選手以来二人目の快挙であり大変素晴らしい成績だと思います。なかでも全国高校総体800m第6位という記録は、本校陸上部においても相場里咲選手(現名城大学)による全国高校総体2年連続入賞と合わせて3年連続入賞という新たな歴史を作ってくれました。

全国高校総体では決勝に残ることを目標とし、準決勝で2'08"85のベストで通過、自信を持って決勝に臨み6位に入ることができました。その後国体に出場することが決まりましたが、夏休みの後半の合宿で故障をしてしまいました。東海選手権、新人戦東三河予選会を全て棄権することになり、県新人(県総体6位以内の資格)では国体に向けて800mだけの出場となりました。そんな中で、その1週間後の国体では2'09"51のセカンドベストでよく4位に入ったと思います。U18日本選手権では予選を楽にいった全体のトップで通過したので内心優勝を狙っていましたが、決勝のレース中の位置取りやかけ引きがまずく、ラストの切り替えができずに4位に終わってしまいました。

本年度、これまでの成績を取められたのはもともと持っていた持久力に400mを56"25で走るスピードがついたことが要因だと思います。今後は更に400mのスピードアップを図りながら持久力をもうワンランク上げることを主眼に置いて練習していき、来年度の全国高校総体では3位以内を目ざしてやっていきたいと思っています。



国体 第4位



U18日本選手権 第4位

(黒田 昭夫)

た、競技場初の競技会は、9月に「中学新人記録会」を予定しています。
(櫻井 一美)

東三河陸上競技協会

今シーズンを終えて

今年度の1年を振り返って、今年も私の独断で東三河陸上競技協会の10大ニュースを作ってみました。

☆第1位 鈴木亜由子選手と服部勇馬選手が東京オリンピックのマラソン代表に内定

9月15日に行なわれたマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)には、東三河ゆかりの男子4名、女子3名の選手が出場しました。私も含め東三河から多くの方々が東京に行って沿道で応援しました。その結果、豊橋市出身の鈴木亜由子選手とトヨタ自動車の服部勇馬選手が見事2位でゴールし、東京オリンピックのマラソン代表に内定しました。

☆第2位 全国中学総体に東三河の中学生過去最多の出場

8月21日～24日に大阪で行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、過去最多の14校からリレー1チームと個人20名が出場を果たしました。そして、田中瑛一選手(田原)が男子走幅跳4位、柴田侑選手(南陽)が男子800mで8位に入賞しました。

☆第3位 全国高校駅伝男子優勝の仙台育英高校に東三河出身者3名

12月22日に京都で行なわれた全国高校駅伝は、仙台育英高校が史上初となる2度目の男女アベック優勝をしました。その中で、男子2区区間賞の白井勇佑、留学生の集まる3区区間8位の吉居大和、7区区間9位ながらトラック勝負を制して優勝を手繰り寄せた吉居駿恭の3選手は、ともに田原東部中学出身者です。

☆第4位 豊橋で北京オリンピック銀メダリストを迎え陸上教室開催

2月1日豊橋市陸上競技場に北京オリンピック銀メダリストの高平慎二さんを迎え、豊橋市体育協会主催の陸上教室が開催されました。中高生や指導者ら約250名が参加し、練習方法や取り組む姿勢などを学びました。高平さんを迎えることができたのは、豊橋市陸上競技場の管理責任者である増田(旧姓鈴木)智実さんの広い人脈のおかげです。

☆第5位 高校総体で東三河の高校生活躍

8月4日～8日に沖縄で行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校から9名が出場を果たしました。そして、柳本匡哉選手(豊川)が男子1500mで2位、川島実桜選手(豊橋南)が女子800mで6位に入賞しました。また、川島選手は茨城国体の女子少年共通800mでも4位に入賞しました。

☆第6位 羽田中学が全国中学男子駅伝初出場が入賞逃すも9位と健闘。3区の柳原裕次郎選手は区間賞獲得。

☆第7位 日本室内陸上競技大会女子U16の60mで佐藤侗有選手(田原東部中)が大会新で優勝

☆第8位 愛知駅伝で豊橋市6年ぶり5回目の優勝

☆第9位 ニューイヤー駅伝でトヨタ自動車が2位入賞

☆第10位 兵藤重二(東三河陸上競技協会理事長)が秩父宮章、鈴木克哉(豊川高校)が高校優秀指導者章受章

来年度は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今年度以上に、東三河陸上界が盛り上がり、多くの好記録が生まれることを期待しています。



陸上教室で指導する高平慎二さん(2/1)

(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

【2019年度を振り返って】

全国小学生陸上競技交流大会では、男子6年100m3位、男子コンバインドA3位、男子友好100m1位、女子6年100m8位、女子コンバインドA3位、女子コンバインドB8位、女子友好100m2位、男女混合4×100mR1位と11種目中8種目で8位入賞と愛知県の競技力の高さを感じました。愛知県の陸上競技人口も増え、県内において陸上競技の普及が進んでいることを実感するとともに、各団体の工夫と指導力の高さの証明であることを誇りに思います。競技力だけではなく、運動することが楽しい、競技会に出てみたい、記録を高めたいなど、児童の意欲を高める環境を整えていきたいです。その先に陸上競技に関わり続ける人財を確保できると感じました。将来にわたって魅力ある陸上競技であるようにみなさんとともに盛り上げていきたいと思っています。



仲間と喜びを分かち合う

【2020年度に向けて】

2020年東京オリンピックが開催されます。スポーツの祭典で日本中が盛り上がります。一人でも多くの方が陸上競技を楽しみ、そして関わり続けるために、これを機にスポーツ文化のさらなる発展に寄与していなければなりません。また持続的に継続的に競技会を運営していかなければなりません。陸上競技に携わり生涯にわたり関わり続ける人は少ないのが現状です。競技者を引退した後、指導者

さらに競技会運営者・審判役員として陸上競技に携わり続ける人々を増やしていくことが急務です。児童が生涯にわたって陸上競技に携われる環境の整備や競技の魅力を味わう場の設定、保護者も取り込んだ競技会の運営など工夫していきたいと思えます。

小学校期は、「楽しく陸上競技の基礎をつくる（身体リテラシーの継続的な育成）」が求められています。学校体育や地域スポーツクラブなどでの活動を通して、運動遊びやスポーツ活動に親しみ、楽しさを味わうことを重視する必要があります。また、走・跳・投の各種目を導入しながら、スポーツスキルと体力のバランスのよい発達を促すことが、身体リテラシーの育成に重要です。競技特性を味わい、楽しく運動する場を多く設定していきたいと思えます。（佐々木博幸）

中小体連

来シーズンへ向けて

● 県中学駅伝（11 / 16 : 新城）

本年度最後の主催事業となる県中学駅伝は、男子は豊橋市立羽田中学校、女子は岡崎市立六ツ美北中学校がそれぞれ初優勝を飾りました。全国中学校駅伝大会は滋賀県の希望ヶ丘文化公園で行なわれ、羽田中学校が第9位、六ツ美北中学校が優勝となりました。特に女子の六ツ美北中学校は、第3区で先頭に立ち2位に25秒差をつけてゴールテープを切ることができ、中体連の歴史を飾る愛知県勢として初の優勝となりました。

また、愛知県中学駅伝大会の開催にあたっては、東三河支部中体連の関係各位に絶大なご支援とご協力をいただきました。ありがとうございました。

● 日本陸連 U16 東海研修会

（1/11・12 : 三重県・三重交通 G スポーツの杜）

今年度は、来年度全国大会の開催地でもある三重県での開催となりました。東海4県の選手各40名、指導者各10名の200名が参加し、短距離・ハードル・走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投の6ブロックに分かれて行ないました。この合宿の特徴として、種目練習だけでなく、競技者としての心構えや目標設定方法、種目の基礎理論についての座学を中心としたミーティングを重視していることが挙げられます。指導者間の情報交換も含め、大変有意義な研修会でありました。

● 次年度に向けて

2020年度の三重全中での大きな変更点として、1名2種目の出場から1名1種目の出場へと変更となります。中体連として競技会運営での大きな変更点はありませんが、2種目の標準記録を突破した際には、出場種目を選択することになります。

2020年度の全国ジュニアオリンピック大会については、日産スタジアムで開催されます。2021年度以降の開催については、開催地や競技会の運営方法、競技種目について大幅な変更が予定されています。

東海中学総体は、愛知県で開催されますので、各方面でのご支援ご協力をいただきながら、選手が大きな成果を上げられるよう実施していきたいと考えております。

（佐橋 弘晃）

高体連

令和2年度に向けて

いよいよ東京オリンピック開催年になりました。愛知県高体連は、昨年同様に大変忙しい年度になります。東海高校新人開催や、高校駅伝コースの変更にも振り回された昨年度から、東海総体開催、静岡県での全国高校総体開催と地元での大きな大会を控えています。また、パロマ瑞穂スタジアム改修中の大会候補地の決定、令和4年度に一宮で開催する東海高校駅伝の準備にも取りかからなければなりません。各支部の副委員長や委員の皆様には大変無理をお願いしなければなりません。皆様方のご協力をお願いいたします。

令和元年度は愛知の高校生が大変目立った1年間でした。4種目でインターハイ優勝者を出し、学校対抗でも複数校が入賞しました。令和2年度も多くの有望選手がいます。冬季練習も順調に行なわれていることと安心していきます。ここ数年は女性上位で愛知は進んでいますので、2年度は男子の奮闘を大いに期待し、女子同様の活躍を期待したいと思います。

全国的に高校生の数が減少中にも関わらず、愛知の高校生登録人数はここ数年微増で推移していましたが、令和元年度は一気に400名弱の減少に転じました。数は力であると考えていましたので、令和2年度は少し心配をしています。また、公立学校においては、部活動に対してある意味逆風が吹いています。各校において多くの新入部員を迎え、活気ある部活動になるようにご協力をお願いいたします。

2028年には全国高校総体が愛知県に来る予定です。東京オリンピックの開催が決まってから早5年がたっています。あっという間に2028年になります。2026年のアジア大会もですが、地元開催に向け、人材発掘を行ないながら、愛知県全体で一致団結し、陸上王国愛知を築いていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

（石井 哲郎）

高体連定通部

2020シーズンに向けて

2019年シーズンは定通陸上にとって素晴らしい一年になりました。全国大会での男女総合優勝は5連覇を果たすなど競技面はもちろん、県代表選手のみですが、全日制の生徒と競い合える競技会へ参加でき、刺激を受ける場が初めてできたことなど、定通陸上として盛り上がる一年になりました。2020年シーズンも新たな取り組みなどにより、定通制の生徒のモチベーションが上がるような一年になればと考えています。

さて、定通選手の皆さん、冬の練習は順調だったでしょうか？「していなかった」「思うようにやれなかった」人が大多数かと思えます。気が付けば4月になります。そろそろ動き始めて、まずは6月の県定通総体を目ざしましょう。全国大会の結果からみても、定通陸上界における愛知県のレベルは高いはずで、それだけ強い選手がいるということです。県大会くらい何とかかなと思っていて、県代表選手にすら選ばれません。時間は全員に平等に与えられています。少しでも早く気付いて、考えて、正しく行動した人に全国大会への切符が届くのではないのでしょうか。皆さんの夢・目標が叶う一年にしてください。

最後にお問い合わせがございませう。高体連定通部では各大会の審判編成に苦慮してございませう。県定通総体は6月7日(日)、県秋季大会は10月11日(日)共に知多運動公園陸上競技場で開催予定でございませう。顧問の先生、定通にお勤めだった先生方、卒業生を中心に審判編成をございませうしてございませうが、大変不足してございませう。陸協の皆様、全日制の先生方にもご理解とご協力をいただきたく今後もお声がけをさせていただきますので、どうかよろしくお願ひします。



2020年も優勝カップを愛知に持ち帰ろう！

(野口 武則)

学連

2019シーズンを振り返る

新型コロナウイルス感染の拡大により日本各地で予定されていたロードレースが中止や縮小開催となり、陸上競技に限らず多くのスポーツイベントが自粛措置となっている。事態は異なるが、我々陸上競技に関わる者は、これまで天災を含む様々な事象を理由に競技会開催の判断を迫られる経験をしてきた。そのような経験を有するスポーツの専門家は適切な判断の下、今後の再開に向けて備えておくべきであろう。まずは、一日でも早い事態の収束および病と闘っている方々の早期回復を願う。

前号(第49号)で紹介した全日本大学女子駅伝(仙台)で2年連続3回目の優勝をおさめた名城大学は、そのコンディションを保ちながら東海学生駅伝(知多半島、12/2)は13連覇、12月30日に開催された富士山女子選抜駅伝でも2連覇を飾った。競技力が首都圏の大学に集中していた時代から変化し、名城大の女子長距離種目をはじめ一部の種目では関西や九州地区が圧倒している学生陸上競技界である。メディアの扱いが多い箱根駅伝に出場する関東地区のランナーが注目されがちであるが、皇學館大学の川瀬翔矢選手は昨シーズンに続き東海学生記録を更新し、今季は3種目の東海学生新を更新した(表1)。5000mでは1979年の川口孝志郎氏(現中京大監督)以来の13分台、10000mにおいては2019年学生ランキング4位に相当するタイムをマークしている。また、男子三段跳では、伊藤陸選手(近大高専4)がU20室内日本新記録(大阪)を更新した(表1)。9月の日本インカレでも優勝しており、今後の記録更新が期待できる。近年、東海地区の選手が上位を占めている女子競歩種目では、2018年世界競歩チーム選手権の代表、矢来舞香選手(中京大3)が日本インカレ優勝をはじめ、シニアレベルで上位順位に入っており、残り1年の学生陸上に向けた更なる記録更新が望まれる。

2019年ユニバシアード大会は東海地区から選出されなかったが、2020年オリンピックイヤーでは、東海地区の学生アスリートたちの活躍を期待したい。

表1：2019年に誕生した東海学生記録(2月25日現在)

選手名(所属/学年)	種目	記録
【男子】		
伊藤 陸(近大高専4年)	三段跳	16m34/16m23
U20日本新記録 / U20室内日本記録		
川瀬 翔矢(皇學館大3年)	5000m	13.36.93
	10000m	28.26.37
	ハーフ	1.01.18

(黒須 雅弘)

実業団

2020年度に向けて

実業団の目標としては、2020年度は東京オリンピックに数多くの選手を出場させたいと考えています。現在、マラソンにおいては、男子で服部勇馬選手(トヨタ自動車)、女子では鈴木亜由子選手(日本郵政グループ)、20km競歩で山西利和選手(愛知製鋼)と3名が内定していますが、4月から始まるトラック&フィールド競技でさらに出場選手を量産したいと考えています。

その有力選手を紹介したいと思います。是非、皆さんの熱い声援をお願いします。男子から1人目は、男子棒高跳の山本聖途選手(トヨタ自動車)。2人目は、400mHの小田将矢選手(名古屋大学から豊田自動織機に入社)。国体では圧倒的な強さで優勝しオリンピック候補選手に名乗りを上げてきています。3人目は、服部弾馬選手(トーエネック)、兄の服部勇馬選手のオリンピック内定で、兄弟でオリンピック出場を狙ってほしいです。4人目は、女子の100m・200mで復活をみざす市川華菜選手(ミズノ)。5人目は、5000mの福田有以選手(豊田自動織機)、6人目は、10000mの萩原歩美選手(豊田自動織機)に期待がかかります。

何といっても東京で行なわれるオリンピックですから、愛知にゆかりのある選手を数多く輩出することを目標に取り組んでまいります。



山本聖途選手
(トヨタ自動車)

小田将矢選手(名古屋大⇒豊田自動織機)

服部弾馬選手
(トーエネック)



市川華菜選手
(ミズノ)

福田有以選手・萩原歩美選手
(豊田自動織機)

(中村 博之)

マスターズ陸上

令和元年度の行事も3月14日の定期総会を最後に全て終了しました。今年度は会員の登録者数も492名(内新規登録者:84名)となり、3年連続増加しております。また年代別での登録状況は10代:1名、20代:27名、30代:70名、40代:119名、50代:134名、60代:74名、70代:46名、80代:19名、90代:2名となっており、性別では男性:413名、女性:79名になっております。女性の方が少ないように思いますが、現在は18才以上で陸上競技に興味がある方であれば誰でも登録ができます。更に会員数が増え老若男女が世代を超えて共に刺激を受けながら陸上競技を楽しんでもらえるよう、連盟の運営やPRにも力を入れていきたいと思っております。

また、2019年11月17日(日)に愛・地球博記念公園で開催した第32回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会は、天候にも恵まれ無事終了することができました。これも協賛をいただきました団体の皆様、そして競技を主管された愛知陸上競技協会をはじめ多くの審判員や補助員の皆様、会場をご提供いただいた愛・地球博記念公園のお陰と心よりお礼申し上げます。当初は3年連続で来年度も開催を予定しておりましたが、経費の難しさから今年度で愛知の開催を終了することになりました。3年目の開催を楽しみにしておられた方も見えたかと思っておりますが、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

大会結果につきましては、以下のとおりです。愛知県は4連覇を目ざした男子チームは2位となりましたが、女子チームは初優勝を達成することができました。

皆様のご声援、誠にありがとうございました。

総合順位

【対抗の部】(3位まで)

- 男子の部 1位:兵庫県、2位:愛知県、3位:滋賀県
- 女子の部 1位:愛知県、2位:愛媛県、3位:滋賀県
- エルダーの部 1位:静岡県、2位:新潟県、3位:滋賀県

【交流の部】(1位のみ)

男子:愛知県、女子:愛知県、エルダー:新潟県

愛知県チームの区間賞獲得者

【対抗の部】(エルダーの部愛知県は7位)

- 男子5区:近藤直樹、6区:河野宏樹
- 女子1区:古川千歩、2区:長坂恵子、4区:坂川真由美
- エルダー4区:中山淳子

【交流の部】(エルダーの部愛知県は3位)

- 男子2区:小伊勢秀樹
- 女子1区:濱村由佳、2区:横山龍子、3区:渡辺幸江、5区:下川友美
- エルダー3区:小早川和民



今年も大活躍の愛知県チームのメンバー

(下川 勝彦)

OB・OG会

令和2年1月23日から一泊二日で、三河湾に浮かぶ大島、竹島を望む絶好のロケーションの蒲郡市にある蒲郡荘に於いて、OB・OG新春懇親会を会員28名の参加で開催しました。今回は東三河地区世話人の準備やお世話での開催でした。今年度、秩父宮章の栄誉を受けられた中尾洋一氏、兵藤重二氏にもご参加いただき、お祝いと懇親を深めた和やかな会となりました。

これで今年度予定しました行事は終了しますが、引き続き新会員皆様の募集は継続しております。入会希望者は、各地区世話人か協会事務所へお問い合わせください。



新春懇親会の参加者

(水野 久)

競技会報告

令和元年度愛知県高等学校駅伝競走大会
男子第70回・女子第31回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
2019年11月10日(日)一宮市大野極楽寺公園発着
(男子:42.195km・女子:21.0975km)

総合

(GR:大会新)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2:03.48 GR	豊川	1:10.26
2	名経大高蔵	2:07.33	岡崎学園	1:10.55
3	愛知	2:08.51	安城学園	1:12.49
4	中京大中京	2:10.49	愛知	1:13.25
5	豊川工	2:13.47	光ヶ丘女子	1:13.57
6	千種	2:14.31	中京大中京	1:15.15

男子区間賞

区間	氏名	学校名	記録
第1区(10km)	鈴木竜太郎	豊川	29.18
第2区(3km)	大岩歩夢	愛知	8.32
第3区(8.1075km)	柳本匡哉	豊川	24.19
第4区(8.0875km)	谷口賢	豊川	23.48
第5区(3km)	市川大輝	豊川	8.27
第6区(5km)	原田愛星	豊川	14.33
第7区(5km)	安藤圭佑	豊川	14.40

女子区間賞

区間	氏名	学校名	記録
第1区(6km)	阪井空	豊川	20.09

第2区 (4.0975km)	水谷 怜愛	豊川	13.26
第3区 (3km)	藤田 悠佑	岡崎学園	10.10
	吉田 彩乃	愛知	
第4区 (3km)	早川想世加	安城学園	10.09
第5区 (5km)	永井 美希	豊川	16.09

第68回愛知県中学校駅伝大会 2019年11月16日(土) 新城総合公園

女子成績

優勝 六ツ美北 41.29 GR
(棧敷真菜美・松山由奈・鈴木愛菜・小小心結・小嶋聖來)

区間賞 1区 田島 愛梨 (横須賀) 10.08
2区 松山 由奈 (六ツ美北) 7.05
3区 鈴木 愛菜 (六ツ美北) 6.58
4区 小山 心結 (六ツ美北) 7.13
5区 小嶋 聖來 (六ツ美北) 10.01

男子成績

優勝 羽田 56.51
(川村寛太・柳原裕次郎・手嶋隆太・仲井蓮人・瓦林遥流・伊藤勇士)

区間賞 1区 平井 翼 (尾張旭西) 9.17
2区 河野 温喜 (葵) 9.03
3区 尾崎 健太 (安城西) 9.22
4区 阿知和優汰 (横須賀) 9.10
5区 岡田 英也 (御津) 9.33
6区 伊藤 勇士 (羽田) 9.17

第59回中部実業団対抗駅伝

2019年11月17日(日)
新コース: 渥美半島 はなとき通り発着 7区間 80.5km

成績(本県分のみ)

1 トヨタ自動車A 3.55.38
(藤本 拓・ニコラス コシンベイ・西山雄介・堀尾謙介・大石港与・早川翼・服部勇馬)
2 愛三工業 3.57.52 4 トーエネック 3.59.04
OP トヨタ自動車B 3.58.20 5 愛知製鋼 3.59.49
3 トヨタ紡織 3.58.28 7 中央発條 4.03.52

第39回全日本実業団対抗女子駅伝

2019年11月24日(日)
松島町文化観光交流館前~弘進ゴムアスリートパーク仙台(宮城コース)
(6区間 42.195km)

成績(本県分のみ)

第8位 豊田自動織機 2.16.34
(萩原歩美・林田みさき・福田有以・ヘレン エカラル・川口桃佳・沼田未知)

2020 東海高等学校駅伝競走大会

2019年11月24日(日) 静岡小笠山総合運動公園周回コース

成績(本県分のみ 3位まで)

男子

2 豊川 2.09.52
(近田達矢・中野倫希・近田陽路・小林亮太・吉村聡介・浅井皓貴・広井隆寿)
3 愛知 2.10.27

区間賞 3区 浅井大登 (愛知) 25.14
4区 小林亮太 (豊川) 24.45
5区 吉村聡介 (豊川) 8.47
6区 浅井皓貴 (豊川) 15.06

女子

1 岡崎学園 1.13.32
(城所日和・杉江風花・藤田悠佑・村松実鈴・内田妃)
2 安城学園 1.13.40 3 光ヶ丘女子 1.14.25

区間賞 1区 城所日和 (岡崎学園) 20.32
2区 竹田実紗 (安城学園) 14.16
3区 古川璃音 (豊川) 10.03
4区 吉田彩乃 (愛知) 10.11
5区 内田 妃 (岡崎学園) 17.33

第81回東海学生駅伝対校選手権大会

2019年12月1日(日) コース: 知多半島一周 7区間 63.5km

男子成績(本県分のみ)

2 愛知工業大 3.16.20 大会新
(三浦真和・服部大暉・小林宏輔・中村正明・植松達也・鈴木高虎・児玉勘太)
3 名古屋大A 3.18.41 6 東海学園大 3.28.17
5 中京大 3.23.25 8 至学館大 3.32.19

区間賞 4区 中村正明 (愛知工業大) 25.34 区間新
6区 鈴木高虎 (愛知工業大) 16.44 区間新
7区 國司寛人 (名古屋大A) 38.05

第13回東海学生女子駅伝対校選手権大会

2019年12月1日(日) コース: 知多半島半周 5区間 26.6km

女子成績(本県分のみ)

1 名城大A 1.30.15
(井上葉南・高松智美ムセンビ・荒井優奈・和田有菜・塩崎 葵)
4 東海学園大 1.37.56 6 名古屋大 1.43.54
5 至学館大 1.40.43

区間賞 1区 井上葉南 (名城大A) 11.46
2区 高松智美ムセンビ (名城大A) 13.57
3区 荒井優奈 (名城大A) 19.34
4区 和田有菜 (名城大A) 16.35
5区 塩崎 葵 (名城大A) 28.23

第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2019年12月7日(土) 愛・地球博記念公園 9区間28.7km

順位	市の部		町村の部	
1	豊橋	1.31.05	東郷	1.36.42
2	岡崎	1.31.43	阿久比	1.37.35
3	豊田	1.31.45	幸田	1.40.11
4	名古屋	1.31.51	東浦	1.40.35
5	豊川	1.34.24	設楽	1.40.37
6	東海	1.34.53	武豊	1.41.43
7	弥富	1.35.09	美浜	1.42.44
8	稲沢	1.35.14	飛鳥	1.44.24
9	一宮	1.35.27	蟹江	1.44.59
10	西尾	1.35.27	豊山	1.45.11

区間賞 (○数字は区間を示す)

市の部

- ①田島 愛梨(東海)
 ②近田 達矢(豊橋)
 ③岸本 泰彦(豊田)
 ④中田 朱音(一宮)
 ⑤柴田 侑(豊橋)
 ⑥鈴木 太智(豊橋)
 坂田 剛(西尾)
 ⑦杉浦穂乃加(弥富)
 ⑧堀 綾花(稲沢)
 ⑨神野 大地(津島)

町村の部

- ①山川 紗季(幸田)
 ②住原 聡太(幸田)
 ③近藤 直樹(阿久比)
 ④澤田 佳鈴(阿久比)
 ⑤加藤 賢斗(東郷)
 ⑥市川 統也(幸田)
 ⑦森崎 綾乃(東郷)
 ⑧村上 弓月(東郷)
 ⑨植田 陽平(武豊)

モリコロ賞

市の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	稲沢	26	8	18	1.35.14
2	大府	24	12	12	1.36.00
3	弥富	16	7	9	1.35.09

町村の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	豊山	14	10	4	1.45.11
2	幸田	6	3	3	1.40.11
	設楽	8	5	3	1.40.37

2019 愛知陸協駅伝競走大会

2019年12月14日(土) 愛・地球博記念公園 3km周回コース

成績

一般男子 (5区間 21km)

- 1 I.A.R.C 1.10.18
 (緒方 航・島田拓弥・木下雅裕・井本光紀・生田卓哉)
 2 名古屋工大 1.13.40

- 区間賞 1区 緒方 航 (I.A.R.C) 19.34
 2区 島田拓弥 (I.A.R.C) 20.17
 3区 木下雅裕 (I.A.R.C) 9.27
 4区 山内直也 (名古屋工大) 10.32

5区 生田卓哉 (I.A.R.C) 10.19

高校男子 (5区間 21km)

- 1 岡崎城西 1.07.38
 (花岡雅也・永田将也・太田悠斗・佐々木航・川合健斗)
 2 岡崎学園 1.12.29 3 津島 1.12.59

- 区間賞 1区 花岡雅也 (岡崎城西) 19.19
 2区 永田将也 (岡崎城西) 19.49
 3区 太田悠斗 (岡崎城西) 9.25
 4区 佐々木航 (岡崎城西) 9.30
 5区 川合健斗 (岡崎城西) 9.35

高校女子 (4区間 15km)

- 1 岡崎城西 B 56.22
 (太田真帆・金田衣望・池田花菜・村松七海)
 2 豊橋南 58.33 3 横須賀 A 59.16

- 区間賞 1区 野村理湖 (知立東) 22.30
 2区 金田衣望 (岡崎城西 B) 11.08
 3区 池田花菜 (岡崎城西 B) 11.22
 4区 村松七海 (岡崎城西 B) 11.17

中学男子 (4区間 12km)

- 1 竜海 A 39.05
 (池上琉一・十河拓平・西野成・山口浩崇)
 2 葵 A 39.07 3 矢作 A 39.58

- 区間賞 1区 柳原寛也 (矢作 A) 9.40
 2区 平井 翼 (TSM) 9.30
 3区 西野 成 (竜海 A) 9.42
 4区 河野温喜 (葵 A) 9.17

中学女子 (4区間 12km)

- 1 竜海 A 43.57
 (高木杏珠・天野花音・壁谷裕奈・西島沙羅)
 2 矢作北 A 45.14 3 矢作北 B 45.26

- 区間賞 1区 高木杏珠 (竜海 A) 10.57
 2区 天野花音 (竜海 A) 10.59
 3区 壁谷裕奈 (竜海 A) 10.37
 4区 秋竹凜音 (矢作北 B) 10.47

第27回全国中学校駅伝大会

2019年12月15日(日)

希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランド
 男子の部 (6区間 18km) 女子の部 (5区間 12km)

男子成績 (本県分のみ)

- 第9位 豊橋市立羽田 58.32
 (伊藤勇士・仲井蓮人・柳原裕次郎・川村寛太・
 瓦林遥流・手嶋隆太)

- 区間賞 3区 柳原裕次郎 9.26

女子成績 (本県分のみ)

- 第1位 岡崎市立六ツ美北 41.43

(小嶋聖来・松山由奈・鈴木愛菜・小山心結・棧敷真菜美)

区間賞 3区 西山雄介(トヨタ自動車) 37.39 区間新

区間賞 3区 鈴木愛菜 6.50

5区 棧敷真菜美 10.25

第31回全国高校駅伝(女子)

2019年12月22日(日)

西京極運動公園陸上競技場 5区間 21.0975km

成績(本県分のみ)

31位 豊川 1.12.39

(阪井 空・古川璃音・野尻琴乃・川瀬真由・水谷怜愛)

第70回全国高校駅伝(男子)

2019年12月22日(日)

西京極運動公園陸上競技場 7区間 42.195km

成績(本県分のみ)

10位 豊川 2.03.16

(鈴木竜太郎・柳本匡哉・谷口 賢・小林亮太・市川大輝・原田愛星・安藤圭佑)

第51回元旦競歩大会

2020年1月1日(水) 知多運動公園陸上競技場付設長距離競歩路

成績(本県分のみ)

一般大学男子 20kmW

3 尾崎 雄大(トヨタ自動車) 1.59.46

一般大学男子 10kmW

2 榊原 智也(愛知工業大) 55.15

3 中尾 圭(愛知マスターズ) 58.40

一般女子 10kmW

該当なし

高校男子 10kmW

1 齋藤 琉空(佐織工業) 48.53

2 杉野 悠人(西春) 48.58

高校女子 5kmW

1 多久なづな(安城) 25.27

2 片原未紗音(豊明) 25.36

3 岸 七海(西春) 26.37

第64回全日本実業団駅伝

2020年1月1日(水) 群馬県庁発着 7区間 100.0km

成績(本県分のみ)

第2位 トヨタ自動車 4.48.36 大会新

(藤本 拓・ニコラス コシンペイ・西山雄介・大石港与・服部勇馬・田中秀幸・早川 翼)

第6位 愛三工業 4.51.32

第13位 トヨタ紡織 4.52.50

第26位 トーエネック 4.55.25

第29位 愛知製鋼 4.56.53

第31位 中央発條 4.58.46

第42回読売犬山ハーフマラソン

2020年2月23日(日) 公認犬山ハーフマラソンコース

全部で38都道府県から10,806名の申し込みがありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が危惧されるので、市民やランナー、ボランティアや役員の方々の安全・安心を最優先とし、やむなく中止となりました。

第9回愛知競歩競技会

2020年2月24日(月) パロマ瑞穂北陸上競技場

成績

高校・中学女子 3000mW

1 多久なづな(安城高) 15.27.51

2 柏原 明以(安城高) 17.57.94

一般・高校男子 5000mW

2 服部 永遠(佐織工業高) 22.54.13

一般・高校女子 5000mW

1 岸 七海(西春高) 25.35.96

2 岩田 華侑(一宮高) 26.00.24

3 松本 怜香(一宮高) 27.23.30

一般・高校男子 10000mW

1 山田 剛大(名古屋市立大) 45.36.02

2 中島 伶(横浜国立大) 48.33.15

3 富田 諒(名古屋大) 49.11.21

一般・高校女子 10000mW

1 柴田 葵(至学館大) 52.15.04

2 上森 佳代(中京大) 52.47.07

名古屋ウィメンズマラソン

2020年3月8日(日) ナゴヤドーム発着



表彰式の様子

東京オリンピック出場をかけた最後のチャンスとなりました。新型コロナウイルスの感染予防のため、エリート部とホイールチェアマラソンの部の実施となりました。一山選手が雨にもかかわらず素晴らしい走りでの日本歴代4位(女子単独レースでは日本最高記録)の好記録を出し、オリンピック代表最後の枠をつかみ取りました。

多方面のご協力に感謝します。

ウイメンズマラソン (エリートの部)

1	一山 麻緒	2.20.29	大会新
2	安藤 友香	2.22.41	
3	ピュアリティィー・リオノリポ	2.22.56	
4	ヒルト・ダンテ	2.23.17	
5	佐藤早也伽	2.23.27	
6	ヘレン・トラ	2.23.52	

ホイールチェアマラソン (クォーター)

1	喜納 翼	25.54
2	安川祐里香	29.45
3	田中 照代	38.13
4	安 夏希	40.58
5	渡辺 陽子	43.31

愛知選手権女子マラソン

2020年3月8日(日) ナゴヤドーム発着

1	中村 瑠花	2.44.44
2	幾野由里亜	2.54.35
3	北谷有梨佳	2.55.10
4	河村奈津紀	2.55.15
5	坂川真由美	2.57.41
6	佐橋 京子	2.58.10

名古屋シティマラソン

2020年3月8日(日) ナゴヤドーム発

実施せず

理事会等会議報告

○12月理事会 令和元年12月6日(金) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- ①全国都道府県対抗女子駅伝・男子駅伝の選手選考について
- ②各種栄章候補者について
- ③愛知県スポーツ協会被表彰者について
- ④審判員昇格候補者について
- ⑤その他

2. 報告事項

- ①令和2年度日本陸連主要競技会について
- ②各種大会結果報告
- ③陸連関係会議報告
 - ・理事会
 - ・全国強化責任者会議
 - ・全国検定員会議
 - ・全国普及育成担当者会議
- ④各専門委員会報告
- ⑤その他

○1月理事会 令和2年1月24日(金) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- ①令和2年度年間競技日程について
- ②その他
 - ・東海陸上競技協会表彰被推薦者について

・中学生全員登録について

2. 報告事項

- ①マラソンフェスティバルについて
- ②読売犬山ハーフマラソンについて
- ③各専門委員会報告
- ④各関係団体からの報告
- ⑤その他

○2月理事会 令和2年2月20日(木) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- ①令和2年度年間競技日程について
- ②その他

2. 報告事項

- ①マラソンフェスティバルについて
- ②読売犬山ハーフマラソンについて
- ③穂の国豊橋ハーフマラソンについて
- ④各専門委員会報告
- ⑤各関係団体からの報告
- ⑥その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

令和元年度愛知県スポーツ協会表彰

・功劳賞

吉越 明 木村 元彦

・特別優秀選手賞

山西 利和

・優秀選手賞

(国際競技会優秀成績)

柳本 匡哉 村上 弓月 伊藤 桃子

服部 弾馬 山口 浩勢 丸尾 知司

山西 利和 山本 聖途 湯上 剛輝

(公認日本記録樹立)

丸尾 知司

(日本選手権大会等優勝)

小久保友裕

(国民体育大会優勝)

小田 将矢

令和2年3月12日(木) ウィルあいち(愛知県女性総合センター)にて表彰式が行なわれる予定でしたが中止となりました。(水野 隆夫)

編集後記

◇節目の50号が発行できたのも、多方面の皆様の支えがあったからこそ深く感謝。◇東京オリンピックが未確定の中、それでも新しいトラックシーズンを精一杯展開していくのが我々の使命。◇陸上界の発展を大いに祈念。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
山下ゆかり